

■ New Creation Seminar101④ 『洗礼の方式とその意味』

a. バプテスマ(洗礼)の唱名方式は？

『主イエス・キリストご自身が、バプテスマのヨハネから「水のバプテスマ」を授けられました。そのことを踏まえて、私達も洗礼を受ける際に、罪の赦しを得るため「水のバプテスマ」を施します。水は「死ぬこと」の象徴です。

さらに、死んだ者はキリストと共に「葬られ」ます。「葬り」を象徴するために、体「全」体を、水に「浸」す「礼」典として、「全浸礼」という方式で実施します。病気などの支障がある時は、「滴礼」という方式を用いることもあります。

主イエスが水から上がった時、天が開けて「聖霊」が注がれました。つまり、水から上がってくることは、「聖霊」による「新しい誕生」を象徴します。今では、主イエスが聖霊を父から受けて、私達に注いで下さっているのです。

洗礼を受けることは、主イエスの十字架、即ち「死と葬りと復活」にあやかるとなのです。その意味から、授洗時の唱名方式としては、「主イエス・キリストの御名によって」バプテスマを実施します』

c f) マルコ伝 1.4 罪の赦しを得させる「」改めの洗礼

マルコ伝 1.9-11 「」が鳩のように下ってくる

使徒言行録 2.38-40 「」改めなさい。

イエス・「」の名によって洗礼を受けなさい。

⇒「」を赦して頂きなさい。

賜物として「」を受けます。

同 2.32-33 聖霊を「」から受けて注ぐ。

b. 聖霊に満たされて歩む

『キリストの十字架にあやかり「新しい命」に生きるとは、罪と死の方向から、神に向かって、180度「方向転換」をすることです。これを「悔い改め」と呼びます。これは後悔とは異なり、過去ではなく未来に向かって生きることなのです。これは人間の努力でできるものではなく、神が与えて下さった聖霊の導きを受け止める中で現実化します。常に聖霊の導きを意識して歩むことは、新しい命の「成長と成熟」を重視することにつながります。神の命を受けた者は必ず成長します。これは霊なる主の働きによるのです。』

c f) ガラテヤ書 5.16-25 「」の導きに従って歩む。

⇒「」の欲望を満たさない。

Ⅱコリント 3.17-18 霊のあるところに「」がある。

⇒主と同じ「」に創造され、成長・成熟していく。